

今、何の病気が流行しているか！



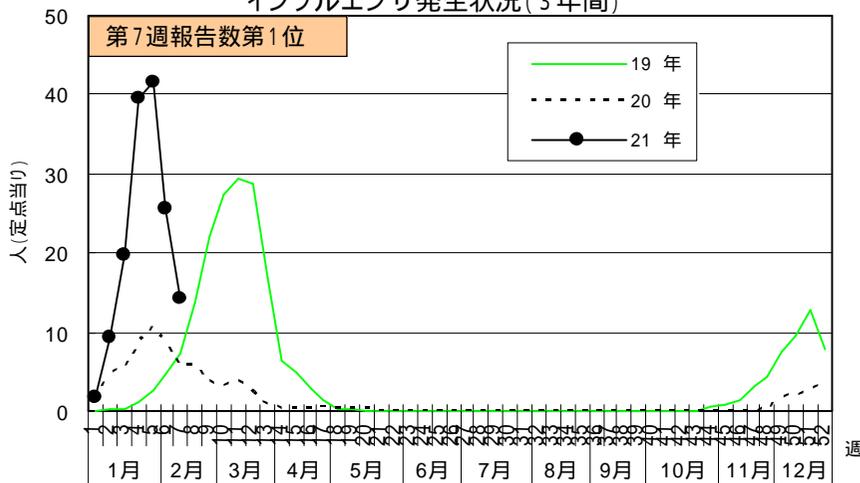
KAWASAKI CITY

【感染症発生動向調査事業から】

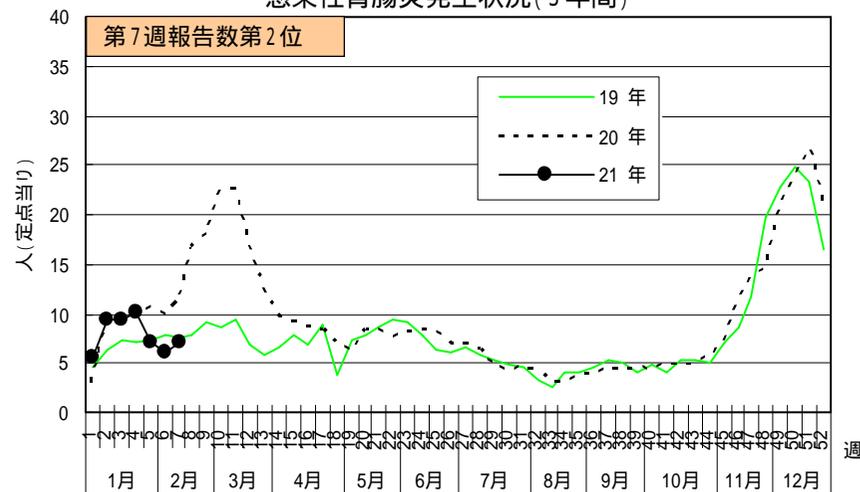
平成21年2月9日(月)～2月15日(日)[平成21年第7週]の感染症発生状況

第7週で報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ、2)感染性胃腸炎、3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順となっています。インフルエンザの報告数が741件(定点当たり14.25人)となり、前週より563件減少しました。ピークは過ぎたと思われませんが、しばらくは注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



暖冬の影響で花粉が飛んでいます。

川崎市では、毎年花粉飛散の始まる2月から、各区役所保健福祉センター7か所と衛生研究所1か所の計8か所で毎日花粉捕集調査を実施しています。花粉の飛散は、天候に大きく影響され、暖冬である今年は例年より早い時期から多く飛散しています。

第7週の川崎市内の飛散度は2月13日以降は、「非常に多い」となっています。花粉症はアレルギー疾患のひとつで、主な症状はくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目やのどのかゆみなどですが、倦怠感など全身症状を伴うこともあります。

花粉対策のポイントは、接触する花粉を少しでも少なくすることです。

花粉情報を参考に、外出を控えたり、マスクや、ゴーグルなどで花粉から身を守りましょう。また、外出から帰ったら、室内に入る前に服についた花粉を落としましょう。

飛散度

少ない	10個未満
やや多い	10～29個
多い	30～49個
非常に多い	50個以上
1cm ² あたり1日の花粉数	

花粉もインフルエンザも

マスクで防ぎましょう！！
うがいと手洗いも大切です。



川崎市の花粉飛散状況のホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/35/35sippei/home/topics/kafun.htm>

川崎市内スギ花粉市内捕集状況

